

授業概要

本授業では、障害のある子どもや大人の心理学の全般に加え、身体障害、知的障害、および精神障害（発達障害を含む）について学びます。障害児（者）の心理社会的課題および必要な支援について説明できることを目的とした講義をします。本講義を通して、共生社会に向けて社会の構成員である一人ひとりがどのようなことを考え、どうすべきかを考えられることも目指しています。本科目は公認心理師の受験科目に必要な科目に位置付けられていますので、受験希望者は公認心理師における役割についても理解をすることが求められます。

授業計画

第 1 回	オリエンテーション（授業内容及び目的の概要）、障害者・障害児心理学とは何か（第 1 章）
第 2 回	身体障害の概要（第 2 章）
第 3 回	知的障害の概要（第 3 章）
第 4 回	精神障害の概要（第 4 章）
第 5 回	発達障害の概要（第 5 章）
第 6 回	身体障害者を取り巻く心理社会的課題（第 6 章）
第 7 回	知的障害者を取り巻く心理社会的課題（第 7 章）
第 8 回	精神障害者を取り巻く心理社会的課題①（第 8 章）
第 9 回	精神障害者を取り巻く心理社会的課題②（第 8 章）
第 10 回	発達障害者を取り巻く心理社会的課題①（第 9 章）
第 11 回	発達障害者を取り巻く心理社会的課題②（第 9 章）
第 12 回	身体障害者への必要な支援（第 10 章）
第 13 回	知的障害者への必要な支援（第 11 章）
第 14 回	精神障害者への必要な支援（第 12 章）
第 15 回	発達障害者への必要な支援（第 13 章）
第 16 回	定期試験（筆記試験）

到達目標

- （1）身体障害、知的障害、および精神障害（発達障害を含む）の概要について理解し、説明できる。
- （2）身体障害、知的障害、および精神障害（発達障害を含む）を取り巻く心理社会的課題について理解し、説明できる。
- （3）身体障害、知的障害、および精神障害（発達障害を含む）のある人への支援方法について、説明できる。

履修上の注意

- ・毎授業、コメントペーパーで感想や質問の提出をしていただきます。
- ・出席状況の基準を満たさない場合は定期試験の受験資格を失います。
- ・遅刻厳禁。講義開始から 30 分を超える遅刻は、欠席扱いとみなします。
- ・不要な私語の禁止。受講態度の悪い学生には、退出を求めます。
- ・授業の都合上、後半の内容が翌週に回ることがあります。

予習・復習

予習：テキストの該当箇所を熟読しておくこと。「授業計画」に記載してある各回の授業テーマやキーワードについて調べ、まとめておくこと。

事後学習：授業内容について振り返りを行い、配布資料を復習すること。理解できなかった点、わからなかった点は調べておくこと。

評価方法

- （1）授業態度及び参加状況（ワーク、コメント、ロールプレイなど）10%
- （2）小テスト 3 回（10%×3=30%）第 6 回、第 10 回、第 15 回に実施予定
- （3）定期試験 60%

テキスト

- ・教科書名：障害者・障害児心理学
- ・著者名：柘植雅義・石倉健二・野口和人・本田秀夫 編
- ・出版社名：遠見書房
- ・出版年（ISBN）：2021 年 ISBN：9784866160634